

# 産業厚生常任委員会資料

令和元年6月5日  
都市整備部  
加古川整備推進室

## 目 次

加古川整備推進室

加古川改修工事、築堤、油谷川築堤他工事について ..... 資料 1

## 加古川改修工事、築堤、油谷川築堤他工事について

加古川改修事業は、加東市河高、下滝野、上滝野地区の約2.7kmの区間について、大きな被害のあった平成16年洪水と同規模の洪水に対する浸水被害を軽減させるため、「緊急対策特定区間」に設定され、平成29年度から概ね10年間をかけ、築堤、河道掘削、橋の架け替えが進められています。

中でも、近年、特に浸水頻度の高い河高地区、下滝野地区の中国自動車道から滝野大橋の間では、平成29年度からおおむね5年間で堤防を完成させることになっています。

平成30年度までに、河高・下滝野地区において築堤工事や樋門工事が進められ、一部の堤防（暫定）が完成しています。

令和元年度には、河高地区油谷川付近の築堤、下滝野地区における築堤の上流側への延伸が予定されています。また、上滝野地区においては、6月29日に土地所有者を対象に説明会を開催し、順次用地交渉を進めていくことになっています。

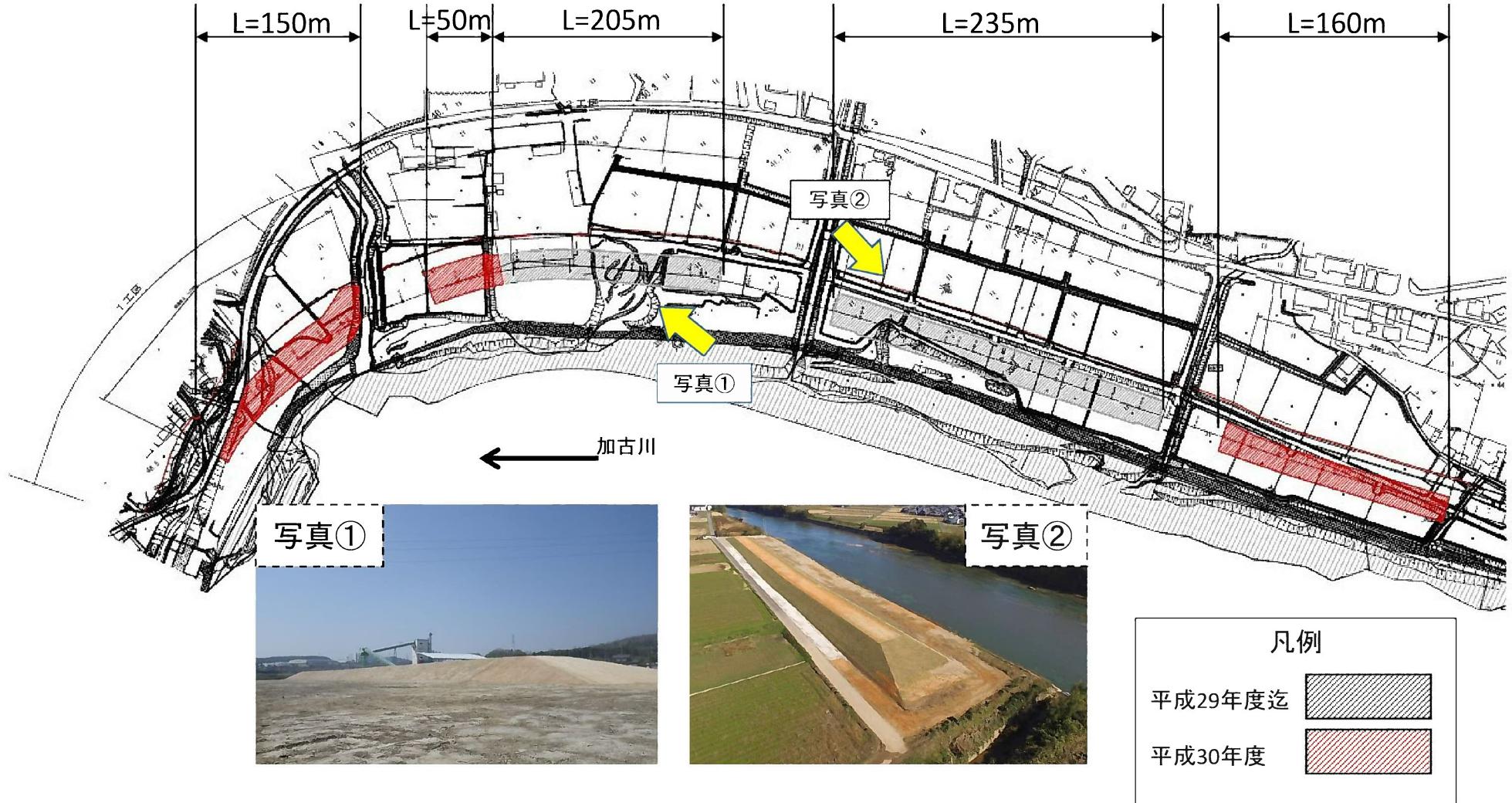


(整備前)



(整備中)

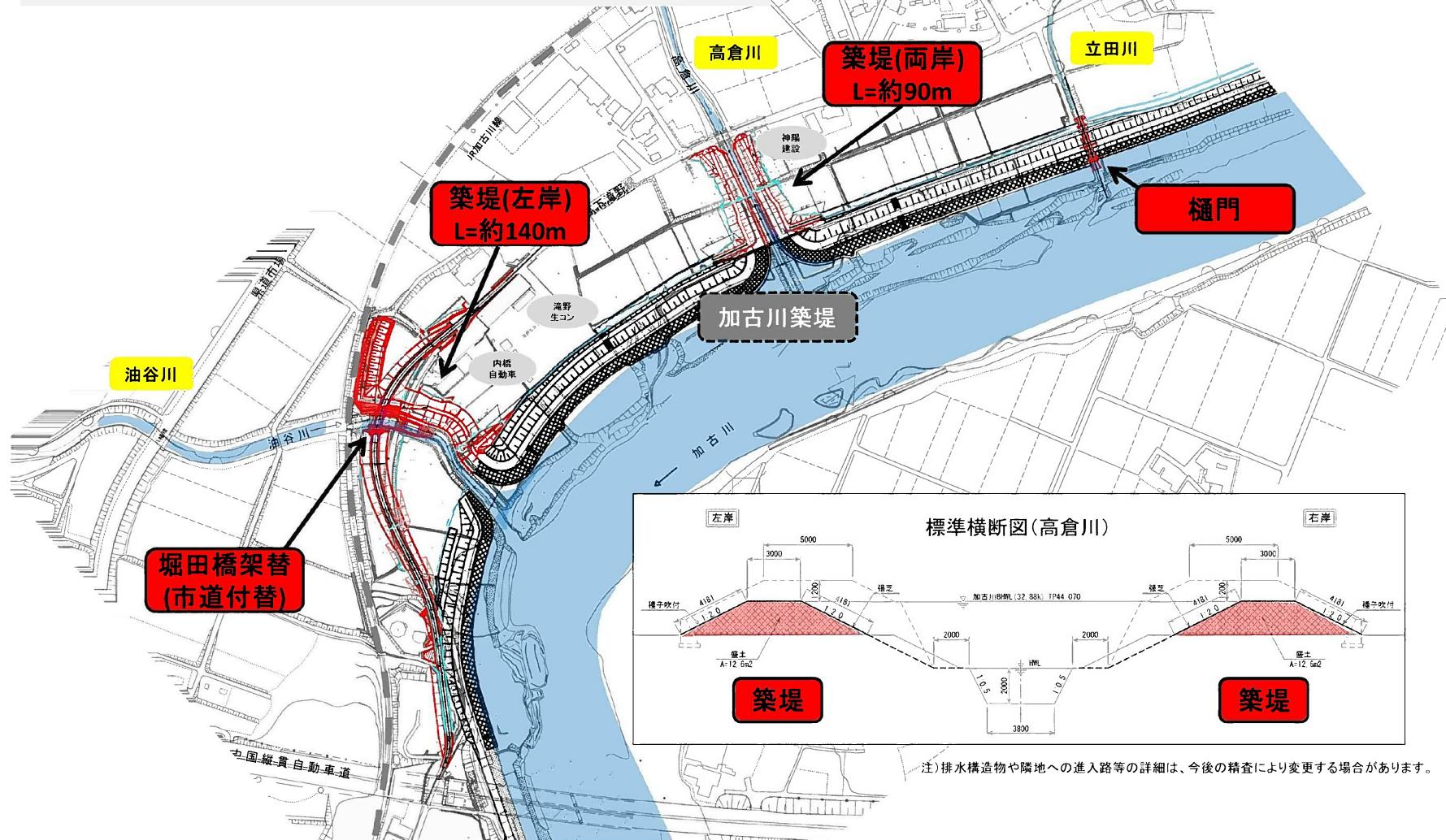
## 河高・下滝野地区の事業進捗（築堤）



# 【加東市河高・下滝野】加古川の築堤に伴う支川対策工事

## 河高・下滝野地区における支川対策の考え方

- ☑ 加古川(本川)の築堤工事とあわせて、本川の洪水が油谷川、高倉川、立田川(支川)に逆流することによる氾濫を防ぐため、各支川にも堤防や樋門を設けます。
- ☑ 対策は、支川ごとの特性(流量、川底の標高等)を踏まえ、かつ家屋の浸水リスクを減らすことを重視した効果的かつ効率的な内容とします。
- ☑ 工事は、国土交通省と兵庫県が連携して実施します。



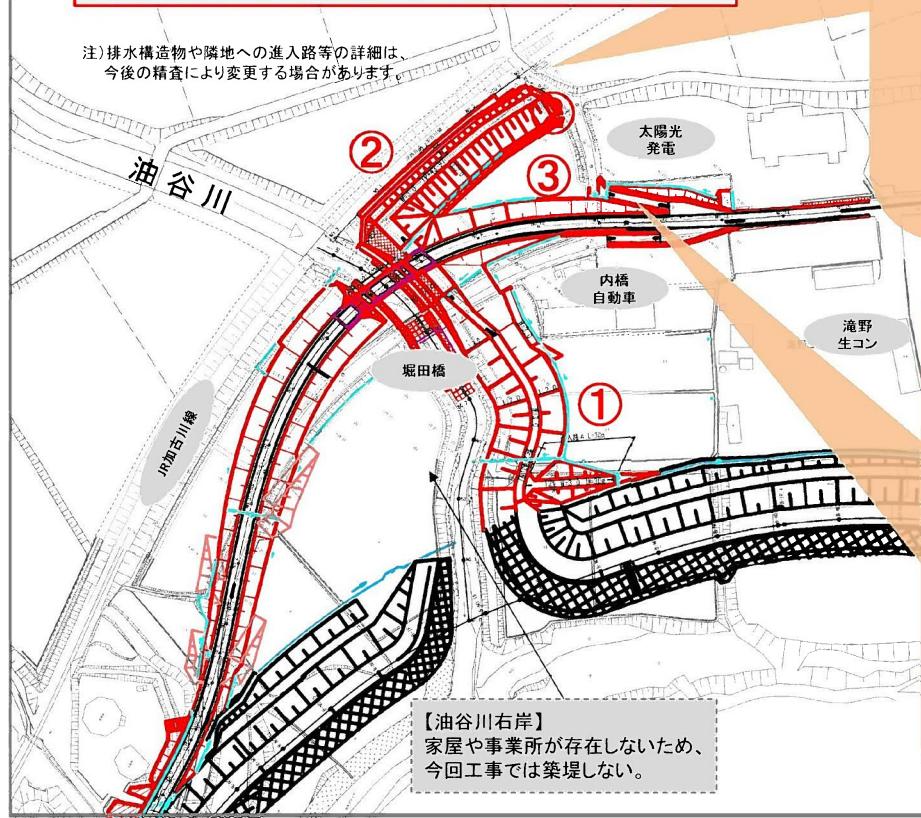
## 油谷川

### 油谷川の特徴

- ☑川自体の規模が比較的大きい。(流域面積、流量)
- ☑川底や周辺土地の標高が低く、氾濫しやすい地形である。
- ☑家屋や事業所は左岸側に集中している。
- ☑JRが近接している。

### 対策

- ①左岸側の築堤 (家屋の浸水リスク軽減を優先)
- ②JR沿いの輪中堤 ( " )
- ③堀田橋の架替・市道付替 (①に伴う付帯工事)



工事完成イメージ (構造詳細等は実際とは異なります。)



# 【加東市河高・下滝野】加古川の築堤に伴う支川対策工事

## 高倉川

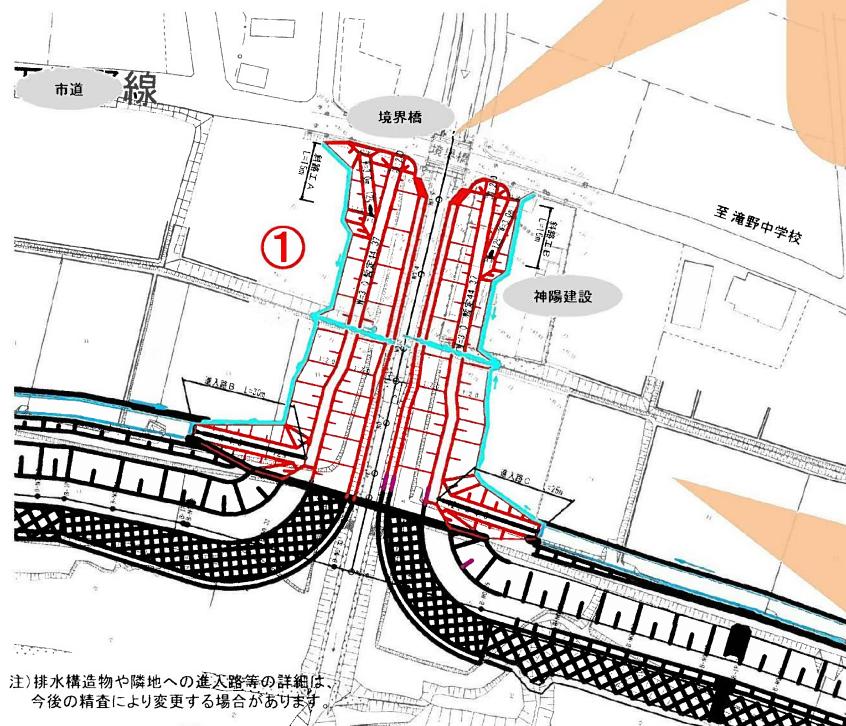
### 高倉川の特徴

- ☑ 川の縦断勾配が比較的大きい。
- ☑ 市道橋(境界橋)より下流は、周辺土地の標高がやや低く、油谷川に次いで浸水のおそれがある。
- ☑ 高倉川で氾濫した場合、溢れた水が低平地である油谷川の方に集まる。

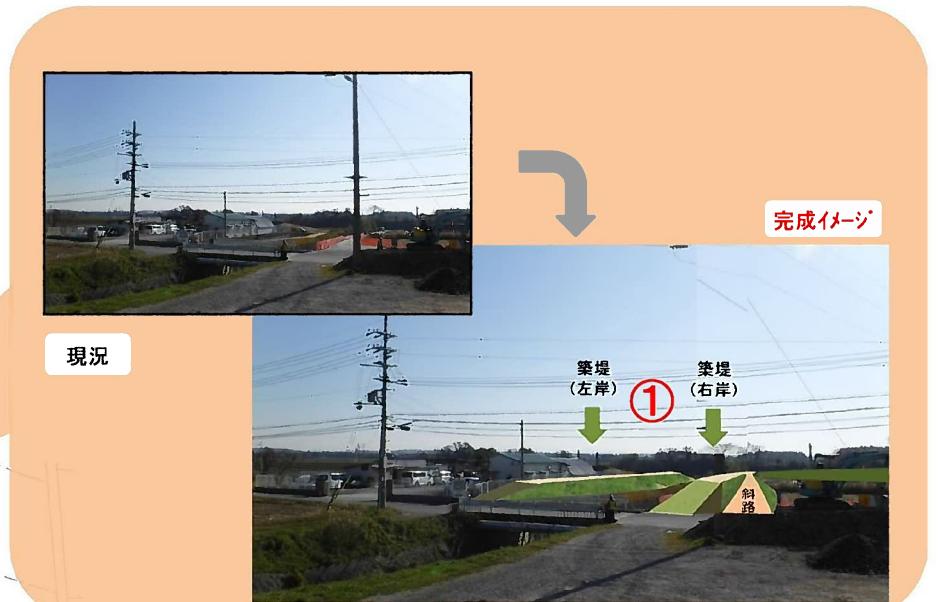
### 対策

#### ①境界橋までの築堤（低い土地からの溢水を防ぐ。）

※今回、境界橋は架け替えません。(橋面は堤防より約1.7m低くなります。)  
この地点から溢水するリスクは小さく、また、架替(道路嵩上げ)による周辺土地利用への影響を考慮し、将来に架け替えることとします。)



工事完成イメージ（構造詳細等は実際とは異なります。）



## 立田川

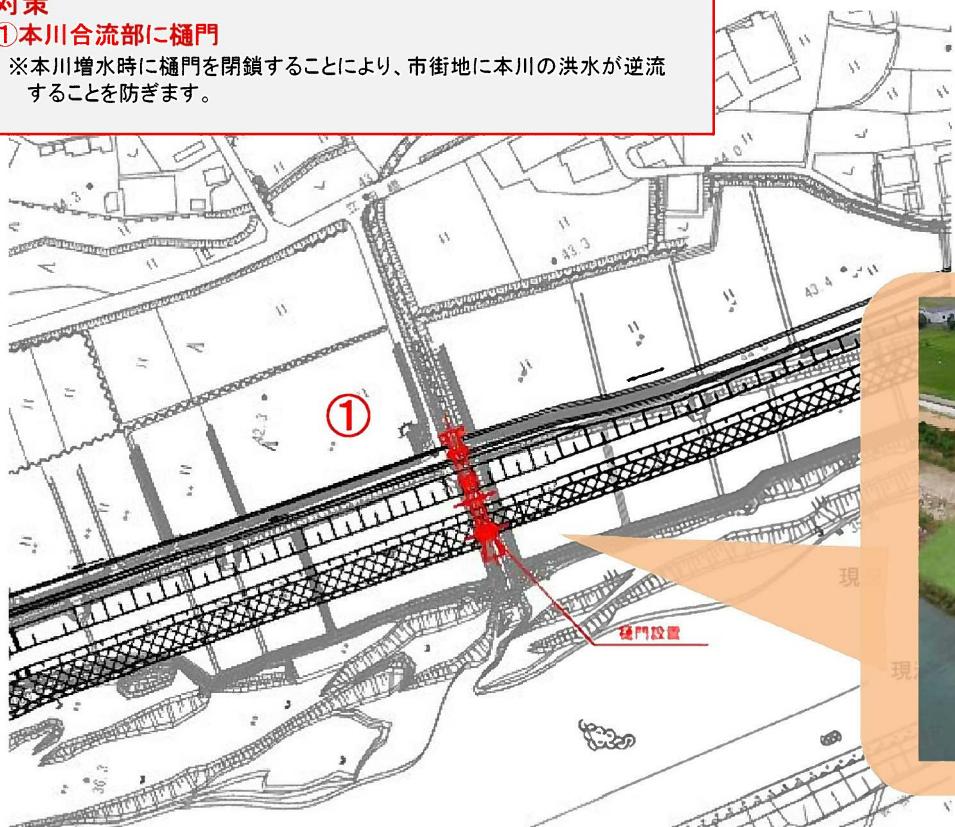
### 立田川の特徴

- ☑下滝野地区の市街地を集水する雨水幹線。
- ☑流量は、油谷川、高倉川に比べて小さい。
- ☑川底や周辺土地の標高は、油谷川、高倉川に比べて高い。

### 対策

#### ①本川合流部に樋門

※本川増水時に樋門を開鎖することにより、市街地に本川の洪水が逆流することを防ぎます。



工事完成イメージ



注)排水構造物や隣地への進入路等の詳細は、今後の精査により変更する場合があります。

## 事業スケジュール

- 国土交通省と兵庫県とが役割分担して効率的に事業を進めます。
- 2021年度の完成を目指します。

### 河高支川対策 事業スケジュール案

年度	2017 (平成29)	2018 (平成30)	2019 (令和元)	2020 (令和2)	2021 (令和3)
概略検討					
設計					
用地測量 ・買収					
本工事			立田川(樋門)		油谷川・高倉川(築堤)
付帯工事					堀田橋架替・市道付替
【本川築堤】 本工事					

※現場条件等により、変更することがあります。